

「名高一地域社会貢献プロジェクト」



徳島県立名西高等学校 芸術科 美術コース 2年



探究の背景

本校美術コースでは、2年生から油絵・日本画・デザイン・彫刻の4つの専攻に分かれ、より専門的な制作活動を行っている。また、コンピュータを使ったデザイン技術の向上にも取り組んでいる。そこで今回の探究活動では、普段の学びを活かし、「高校生のデザインは、地域のお店にどのように役立つのか」という問いを立て、地域社会に貢献するデザイン制作に取り組んだ。

活動の流れ

要望聞き取り



デザイン制作



相手先との調整



要望品寄贈

地域貢献を目指した探究活動プロジェクトの取組

①協力店の検討



②協力店へのアポ取り



⑤デザイン案の提案と修正



③協力店への説明と要望品の聞き取り

デザートテーブル



《要望品》

○クレープ包装紙 ○のぼり旗 (クレープ)



菓子工房



《要望品》

○商品紹介ポスター ○のぼり旗 (チーズケーキ)



《要望品》

○お店看板 ○お知らせ表示ポスター



④デザイン制作 (案▶手描き▶デジタル制作)



デザイン案は、担当を決め、グラフィックソフトの「Illustrator」を活用して、手描きスケッチ家からデジタルデータを作成した。



⑥業者への発注・要望品の寄贈



要望品の完成デザイン



考察・まとめ

- デザインは、使いやすさを考えた制作の難しさと、相手の思いや課題に応える表現であることを再確認できた。
- 地域の方と直接やり取りをすることで、責任感・コミュニケーションの大切さを学んだ。
- 今後も、目的や意義を意識しながら、美術を通して社会や地域の課題解決につながる表現を目指していきたい。